

未来を拓く「学び」プロジェクト 令和2年度 シンポジウム @オンライン

日時

令和2年12月25日(金)

第1部 午後1時～

第2部 午後2時15分～

第3部 午後3時30分～

申込

下記ホームページ内の入力フォームに
必要事項を入力してください。

<https://manabi.spec.ed.jp/coref/>

※後日、視聴に必要なURLを送付します

※「@pref.saitama.lg.jp」を受取可能にしてください



問合せ

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 学びの改革担当

TEL 048-830-6766 Eメール a6760-26@pref.saitama.lg.jp



埼玉県



「未来を拓く『学び』プロジェクト」では、埼玉県教育委員会と東京大学CoREFが研究連携し、「知識構成型ジグソー法」の手法を用いた協同学習の授業実践を通じて、アクティブ・ラーニングの捉え直しを行っています。生徒の学び合い、主体的な学びによる生徒の変容で、埼玉の教育が大きく変化しています。

【プログラム】

■ ■ オンデマンド配信 ■ ■

- ・埼玉県 教育長挨拶
- ・協同学習に係るICT活用 of 取組

■ ■ リアルタイム配信 ■ ■

～テーマ～ 各教科の協同学習から見てきたこと

第1部 午後1時～

国語 / 保健体育 / 家庭 / 農業 / 情報

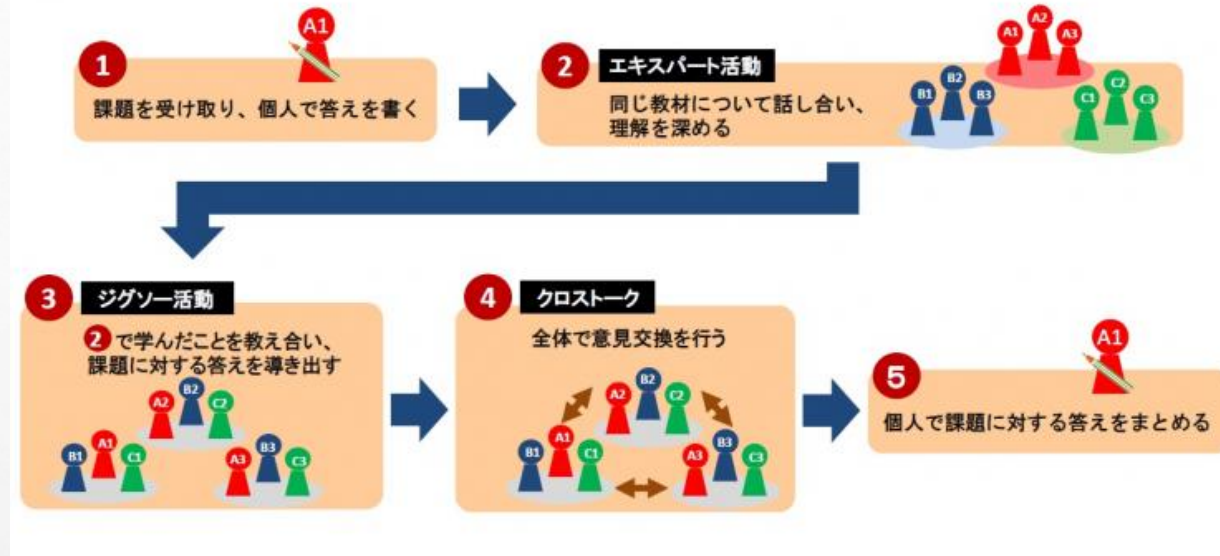
第2部 午後2時15分～

地理歴史 / 数学 / 音楽 / 書道 / 商業

第3部 午後3時30分～

外国語 / 公民 / 理科 / 美術・工芸 / 工業

※ 本シンポジウムの開催にあたり、映像の録画・録音は固くお断りします。



「知識構成型ジグソー法」は、「話す」、「聞く」、「考える」といった、一連の活動を繰り返し、考え方や学び方そのものを学習活動の中で学べる「協同学習」のための手法の一つです。

まず、問いについて自分自身で答えを考えることからスタートします。

その後、課題を解決するためのヒントとなる数種類の教材を用いて、グループでの話し合い活動を行います。

違う教材を学んだ生徒で新しいグループをつくると、異なる知識一つ一つがパズルのピースとしてつながり、知識が融合されることで、与えられた課題の答えにたどり着きます。

グループ活動後は、その活動を通して広げ深めた考えを基に、与えられた課題に再び向き合い、最後は一人で課題に対する答えをまとめていきます。

※ 「知識構成型ジグソー法」は、東京大学CoREF故三宅なほみ氏が考案した授業手法です。